



カーボンフットプリント(CFP)

CFP宣言

登録番号：JR-BF-22005C

SuMPO環境ラベルプログラム

一般社団法人サステナブル経営推進機構

東京都千代田区鍛冶町2-2-1

<https://ecoleaf-label.jp>

株式会社 日立製作所
Hitachi, Ltd.

Hitachi Virtual Storage Platform 5200H



算定単位

販売単位（台あたり）

算定対象段階

最終財 中間財

製品の型式

H/A-65AG-CBXAHN*

*コントローラシャーシの型式、H/A-はH-又はA-の意。

主要仕様・諸元

ハイブリッドフラッシュアレイ

-コントローラシャーシ

H/A-65AG-CBXAHN(ドライブ搭載不可) 最大1ペア

-ドライブボックス

H/A-F65AG-B1NSBX(SAS SSDドライブを96台搭載可) 最大8台

H/A-F65AG-B1NUBX(SAS LFFドライブを最大96台搭載可)最大4台

H/A-F65AG-B1NNBX(NVMe SSDドライブを96台搭載可)最大1台

*最大接続台数は、単一の型式のドライブボックスのみを接続する

場合を表す。混載の場合は別途。

-想定使用年数 5年

*製品の改良により予告なく記載されている仕様が変更になることがあります。

問い合わせ先

株式会社 日立製作所 Hitachi, Ltd.

03-5471-2745

登録番号	JR-BF-22005C
適用PCR番号	PA-520000-BF-01
PCR名	IT機器
公開日	2022年10月14日
検証合格日	2022年3月4日
検証方式	個品別検証方式
検証番号	JV-BF-22005
検証有効期間	2027年3月3日

PCRレビューの実施

認定日等	2021年 2月 19日
委員長	山岸 健 (一般社団法人サステナブル経営推進機構)

第三者検証者*

外部検証員	小関 康雄
ISO/TS14067に従った本宣言及びデータの独立した検証	
<input type="checkbox"/> 内部	<input checked="" type="checkbox"/> 外部

*システム認証を受けた事業体内の検証の場合は、システム認証を行った審査員の名前を記載。

登録番号：JR-BF-22005C



①CFP算定結果

算定単位 販売単位 (台あたり)

項目		数値	単位
CFP算定結果		320,000	kg-CO₂eq
内訳	①原材料調達	14,000	kg-CO ₂ eq
	②生産	4,100	kg-CO ₂ eq
	③流通	230	kg-CO ₂ eq
	④使用・維持管理	300,000	kg-CO ₂ eq
	⑤廃棄・リサイクル	130	kg-CO ₂ eq
数値表示		320,000	kg-CO₂eq
表示単位：		販売単位 (台あたり)	
数値表示		9.0	kg-CO ₂ eq/TB・年
表示単位：		TB・年当り^{*1}	

※端数処理により、CFP算定結果と内訳の合計値は若干異なる場合があります。

※1 単位機能あたりのCO₂排出量。CFP算定結果を記憶容量 (TB) と想定使用期間 (年) で除算。

③その他の環境関連情報

②算定結果に関する追加情報

【対象製品】

- ・製品名 Hitachi Virtual Storage Platform 5200H
- ・CO₂eq排出量の算定条件
 コントローラシャーシ(H/A-65AG-CBXAHN) 1台と
 ドライブボックス(H/A-F65AG-B1NSBX 1台(SAS SFF 最大96台)、H/A-F65AG-B1NUBX 4台(SAS LFF 最大384台))
 SAS SFF/LFFを最大数搭載した構成で算定
- ・使用したシナリオの製品種類名
 ディスクアレイ(磁気ディスク装置)
- <主な製品仕様>
 - 記憶容量※ 1 7,133.3TB
 - 想定使用年数※ 2 5年
 - ドライブの種類 磁気ディスク装置(SAS SFF/LFF)
 - ディスク回転速度 (回転数) 2.5inch-10krpm、3.5inch-7.2krpm
 - ディスクサイズと台数 2.5inch-96台、3.5inch-384台
- ・CO₂eq排出量
 - 製品あたり 320 t-CO₂eq
 - 1TB・1年あたり 9.0 kg-CO₂eq/TB 年
- ・測定条件 : 使用時電力は、認定PCR(PA-520000-BF-01)で定めた測定方法により測定しております。

※ 1 本容量は1TB=1,000,000,000,000Byteとして計算した値です。

※ 2 想定使用年数は、法定耐用年数 (電子計算機 その他のもの 5年) として計算しております。

④CFP算定結果の解釈

- ・使用・維持管理段階における温室効果ガス排出量が最も多くライフサイクル全体の約94%を占めており、使用時の消費電力の影響が大きいため、使用時の省エネ性能が非常に重要な要素だと言えます。なお、使用・維持管理段階は、一般的な条件を設定して評価したため、お客様の利用条件と同じでない場合があります。
- ・CFP算定にあたり、原料使用量は当社データを利用していますが、数千点におよぶ部品の製造時データを収集することは困難なため、一般的な原料製造時のデータを利用しています。そのため、当製品固有の特徴を反映していない場合があります。

⑤使用した二次データの考え方

IDEA v2.1.3を優先して利用しつつ、登録原単位 v1.10で補完した。

⑥備考

—

- データ算定の方法は、PCRおよび算定・宣言規程を参照してください。
- 比較については、算定・宣言規程に規定された条件を満たした場合にしか認められません。
(参照先URL：<https://ecoleaf-label.jp/regulation/>)
- 製品の提供により生じる気候変動以外のその他の潜在的な社会的／経済的／環境的影響の評価は行っていません。

登録番号： JR-BF-22005C